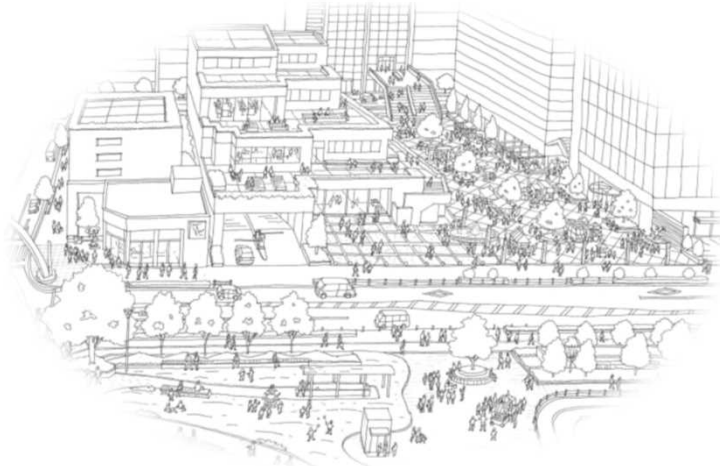


# 小牧市中心市街地グランドデザイン

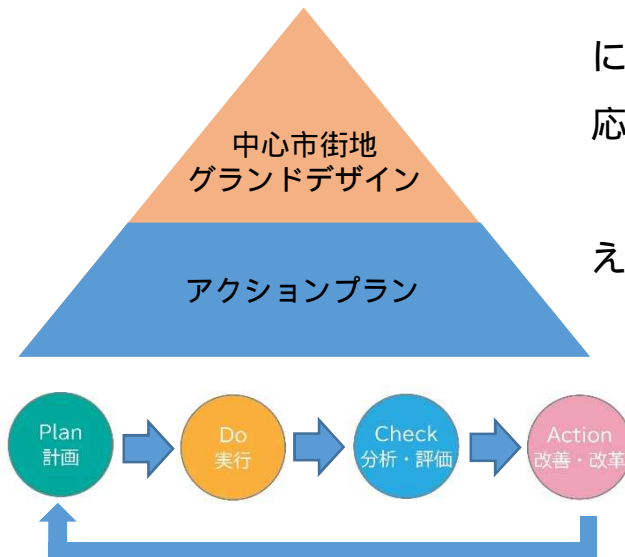
## アクションプラン 令和4年度～令和6年度



キミと一緒に、育っていききたい。  
**Komaki**

## アクションプランの位置づけ

小牧市中心市街地グランドデザインでは、中心市街地を目指すまちの姿として、  
「訪れたいまち」「住みたいまち」「活力があるまち」という3つを設定し、その目指す姿ごとに施策  
を取り組むことにより、中心市街地の将来像「小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気  
あるまち」の実現を目指すこととしています。



アクションプランは、中心市街地グランドデザインの施策  
に基づく事業の3カ年の実施計画であり、事業の実施状況に  
応じて、毎年更新し策定するものです。

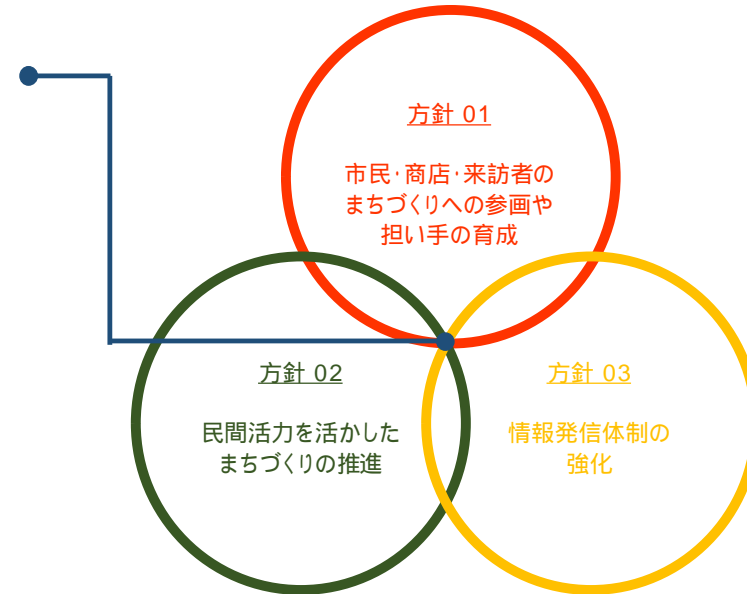
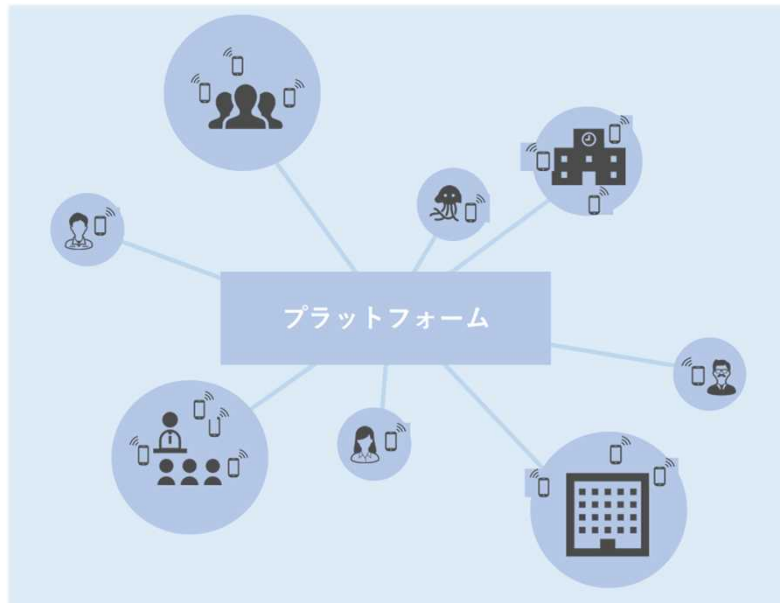
このアクションプランは、PDCAサイクルのプロセスを踏ま  
え、計画の進捗管理と事業の改善を行っていきます。

# プラットフォームの構築

## 01. グランドデザイン/計画の推進・実現に向けて

### 3つの方針に基づきプラットフォームを構築（つながる場）

まちづくりを推進するためには、この3つの方針に基づいて各主体（住民、商店、関係団体等）が、それぞれの役割を明確にしたうえで、連携・協働して課題を解決していくための体制・環境を整える必要があります。そこで、令和4年度から各主体がつながる場として、プラットフォームの構築に着手します。



### プラットフォームに期待される役割

SNSなどによる情報発信

参加者の交流

アクションプランの評価・検証・改善

自主活動の展開（行政と主体の連携）

# プラットフォームの構築

## 02. プラットフォームの立ち上げから拡充

プラットフォームは、オンライン（専用SNSの構築）と対面を融合した形で運用していきます。立ち上げ期間は行政（都市整備課）が主導しながら、期待される役割が発揮されるよう運用の工夫を図っていきます。

### STEP/01. 中心市街地活性化専用SNSへの参画

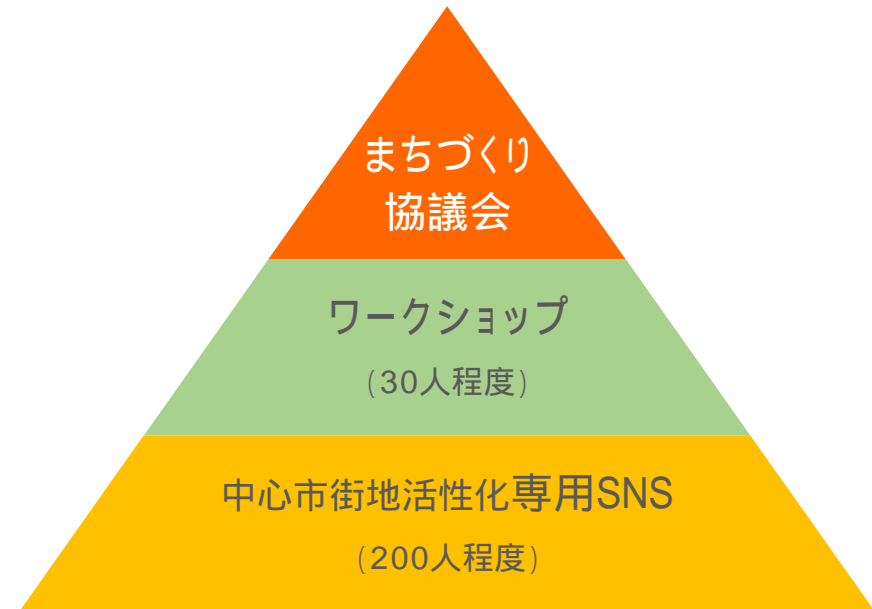
専用SNSでは、団体や世代の枠を超えて幅広くメンバーを集めます。そして、ランドデザインで目指す3つのまちの姿の実現に向けて、行政と主体が連携して行う施策のアイデアを募集します。

### STEP/02. ワークショップへ発展

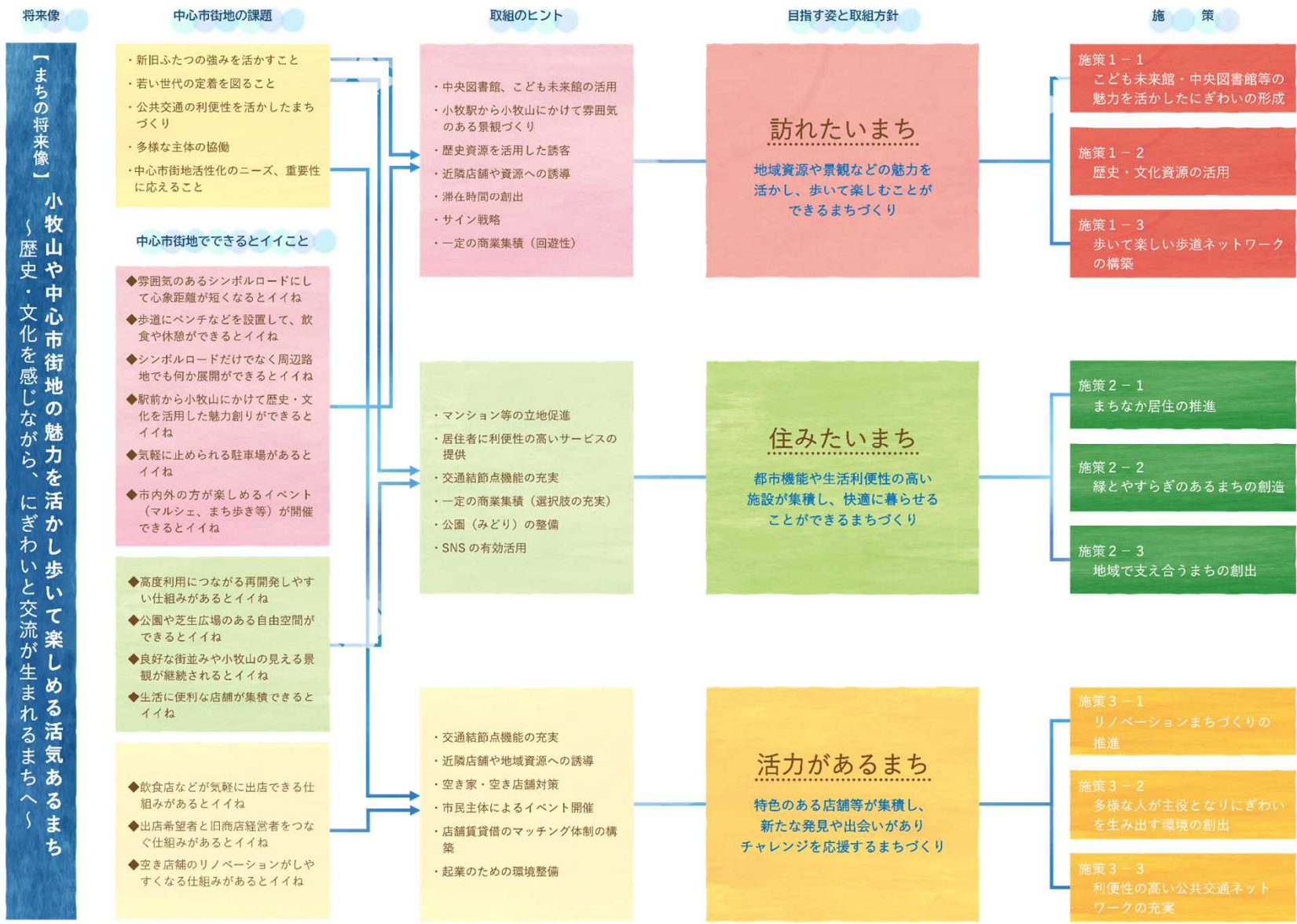
SNSで募集したアイデアをヒントにして、対面式のワークショップで実施可能な施策を具体化します。また、翌年度のアクションプランに盛り込み進捗管理を行います。

### STEP/03. まちづくり協議会への発展

将来的には、SNSやワークショップといったプラットフォームでつながった各主体がボトムアップすることにより、まちづくりを主体的に担っていく「まちづくり協議会」へ発展し、自主活動が継続的に展開されることを期待します。



# 中心市街地グランドデザインの体系





# 1 訪れたいまち

---

## 【取組方針】

### 地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり

中心市街地には、市のシンボルである小牧山をはじめ、新たに整備されたこども未来館や中央図書館など魅力的な地域資源や公共施設が集積しています。

これらの拠点を、市の玄関口である小牧駅から小牧山までのエリアで面的につなげ、歩いてみたくなる回遊性のあるまちなかを目指します。



# 1 訪れたいまち

## 施策 1 - 1 こども未来館・中央図書館等の魅力を活かしたにぎわいの形成

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
施設を訪れた人の周辺への誘導 (中心市街地にぎわい創出事業)	にぎわい広場でのイベントを、こども未来館・中央図書館のデジタルサイネージで告知する。 イベント情報をにぎわい広場Instagramにて発信する。 小牧駅前に市内のイベント・観光情報を発信するデジタルサイネージを整備する。	実施			流行にあったSNSツールの使用
こども未来館でのワークショップや講座の実施 (講座開催業務委託)	学校や家庭では体験できない新しい学びが見つかる講座を開催する。	講座の開催			
中央図書館でのイベント・企画展示等の実施 市民活動団体等による講座等 ボランティアによるおはなし会等 図書館主催による各種講座 市、市教育委員会、こまきまき市民文化財団の主催・共催・後援事業に対するイベントスペース貸出	市民活動団体等によるワークショップ等を年間通して定期的に開催する。 図書館ボランティアによるおはなし会や人形劇などを開催する。 図書館主催の講演会や講座などを開催する。 イベントスペースを団体等に貸出し、イベントや作品展示を実施する。	実施			
魅力ある様々なイベントを開催しやすい環境や仕組みづくり (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧にぎわい隊によるイベントの開催のほか、駅前イルミネーション等のイベント時にあわせてキッチンカーの誘致を実施する。	実施			
手続きの簡略化 (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧市にぎわい広場の利用申請のWEB申し込みを推進する。	実施			
小牧駅西駅前広場からにぎわい広場周辺にかけての一体的な利用 (小牧駅周辺整備事業)	駅前広場の整備状況に合わせ、駅前広場と市道小牧駅西線を挟んだにぎわい広場との一体的な利活用を実施する。	実施			

# 1 訪れたいまち

## 施策1 - 2 歴史・文化資源の活用

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
史跡小牧山主郭地区の整備 (史跡小牧山主郭地区整備事業)	平成20年度より実施している小牧山主郭地区の発掘調査成果をもとに、小牧市歴史館周辺を5つの工区に分け、順次史跡整備工事を実施する。	実施			R7 完了 予定
小牧市歴史館の展示リニューアル (文化財等展示施設改装・整備事業)	小牧市歴史館の展示内容を戦国時代をテーマとしたものに更新するとともに、歴史館内で展示していた民俗資料を展示する。 (仮称)歴史民俗資料展示施設を新たに整備する。	実施			R7 完了 予定
れきしるこまきでの企画展示の実施	れきしるこまき(小牧山城史跡情報館)において発掘調査の最新情報や主郭地区等の整備状況を紹介する企画展の開催や講演会、ワークショップ等を実施する。	実施			
外国人向け情報発信の充実	市観光協会のホームページの多言語対応や市内の文化財等を紹介する外国人向けパンフレット等を作成する。	一部 実施			
歴史・文化資源の周遊まち歩きルートの設定	既存のパンフレット等の活用。小牧市観光協会と連携したガイドを実施する。	実施			
大学や各種団体と連携した歴史講座の開催 (文化財啓発事業)	愛知文教大学へ事業委託を行い、歴史講座や古文書講座等を実施する。	講座の 開催			



# 1 訪れたいまち

: 新規事業

## 施策1 - 3 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
歩行者利便増進道路事業	道路管理者として歩行者利便増進道路に指定し、幅員構成の再配置に伴う改築工事の際にベンチ等の休憩施設を整備し、利便増進誘導区域における占用許可基準の緩和により民間事業者による利便増進施設(ベンチやテーブル等)の設置を可能とする。	現地調査			R7 完了 予定
観光案内、歴史案内サイン等の設置 (サイン設置事業)	R7に改定予定の景観整備計画をふまえ、織田信長や小牧山城、社寺などを紹介し、その魅力を発信するため案内サインを整備する。				R7～ 実施
シンボルロードから路地への誘導 (サイン設置事業)	路地空間への魅力的な施設や店舗への誘導を図る案内サインを整備する。				店舗等の立地状況を踏まえ実施
小牧市都市景観基本計画の改定	中心市街地にふさわしい景観形成を目指し、ランドデザインの取組みを踏まえた小牧市都市景観基本計画の改定を行う。	方針決定		改定	
街頭装飾 (中心市街地にぎわい創出事業)	冬季における小牧駅周辺イルミネーションを実施する。	実施			
旧図書館跡地利活用の検討	民間活力を導入した公園整備を検討する。	実施			

## 2 住みたいまち

---

### 【取組方針】

### 都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり

本市の中心市街地は都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、他の地区と比べて暮らしやすい環境が整っています。この高い生活利便性に加え、公園など人々がやすらぎを感じられる空間の整備や地域で支え合うまちづくりを推進することで良好な住環境を創出し、すべての世代が快適に暮らし、互いに支え合うまちなかを目指します。



## 2 住みたいまち

### 施策2 - 1 まちなか居住の推進

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
地区計画の検討	土地の高度利用を促進するため地区計画の策定や見直しを検討する。				民間の再開発事業等の状況により実施
民間再開発の活性化支援策の検討 (市街地再開発事業)	民間再開発の活性化に向け、「小牧市市街地再開発事業等補助金等交付要綱」の見直しなど、民間事業者に対しインセンティブとなりえる支援策を検討する。	制度の検討			
空き家バンク	空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したいと考えている方に紹介する。	実施			
災害時におけるボランティア活動に関する協定	災害応急対策又は災害復旧対策としてのボランティア受入れ活動に要するボランティアセンターを設置する。	センター立上げ訓練			
災害時における一時避難所としての使用に関する協定	小牧駅周辺の帰宅困難者及び避難者の一時避難所として東春信用金庫の一部施設を使用する。	協定内容、担当の相互確認			

## 2 住みたいまち

### 施策 2 - 2 緑とやすらぎのあるまちの創造

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
駅東公園の再整備 (小牧駅周辺整備事業)	ランドデザインの取組方針に基づき、駅東公園の再整備を行う。	実施設計		工事	R7 完了 予定
小規模公園の整備 (小規模公園整備事業)	地域住民や訪れた人が気軽に休憩したり、小さな子どもが遊べる公園を整備する。				土地利用状 況に応じて 検討
史跡小牧山の維持管理 (史跡小牧山管理事業)	史跡小牧山内にある園路や案内看板、屋外トイレや園路照明などを適切に維持管理する。	維持管理			
史跡小牧山の緑の適切な 維持管理	史跡小牧山内の樹木について、散策される方の安全や遺構の保護の観点から、伐採や枝払い等を実施する。	維持管理			
シンボルロードの緑化推進 (公園緑地施設改修事業)	「小牧市都市景観基本計画」の改定に合わせ、景観を統一化するための植樹帯リニューアルを検討する。				R7 ~
既存公園・緑道の適正な維持・管理 (公園緑地施設改修事業) (児童遊園施設整備事業)	公園長寿命化計画に基づく遊具や施設などの適正な管理と安全性の確保及び必要に応じた施設の更新を行う。 経年劣化が進む児童遊園を安心して遊べる施設とするため、計画的に施設再整備を行う。	実施			
緑化支援制度の充実 (緑化推進事業)	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業に基づく市民や事業者が行う優良な緑化事業に対して一部補助することにより、民有地の緑化を推進を実施する。	実施			
	「小牧市都市景観基本計画」の改定に合わせ、緑化重点地区における小規模緑化に対する補助制度を検討する。				R7 ~

## 2 住みたいまち

### 施策2 - 3 地域で支えあうまちの創出

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
生涯学習の環境の充実、市民活動への支援 (こまき市民交流テラス「ワークタイプこまき」運営事業)	市民の自発的な活動を活性化する拠点として、各種講座や市民活動祭、交流会、ボランティアマッチングなどを実施し、さまざまな市民活動への支援やつなぐ役割を果たしていく。	実施			
子育て支援に関する相談、教室の充実 (子育て世代包括支援センター運営事業)	こども・子育てに関する相談の対応や妊娠期から子育て期の親子のための支援講座や教室の開催。子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援するとともに、妊産婦を対象にこまき巡回バス「こまくる」に無料で乗車できるフリーパスの配布や産後うつ対策として、自宅等に訪問する育児サポートを実施する。	実施			
多世代が交流できる機会の創出や生きがいづくり支援体制の充実 (高齢者がいきいきと輝くまちづくり事業)	就労からボランティア活動に至るまで、ワンストップで情報提供できる体制を整備し、その拠点を起点とした活動支援を行う。	実施			
多文化共生に関する講座や交流イベントの実施	日本人市民と外国人市民による多文化共生の課題についてのワークショップを開催する。 小牧市国際交流協会に対し、協会事業の円滑な運営及び組織の確立を目指し、引き続き支援を行う。	実施			
地域協議会設立推進・活動支援事業	地域協議会に対し、地域助け合い交付金による財政支援や地域パートナー制度に基づく人的支援などを通じて活動の活性化を図る。	実施			



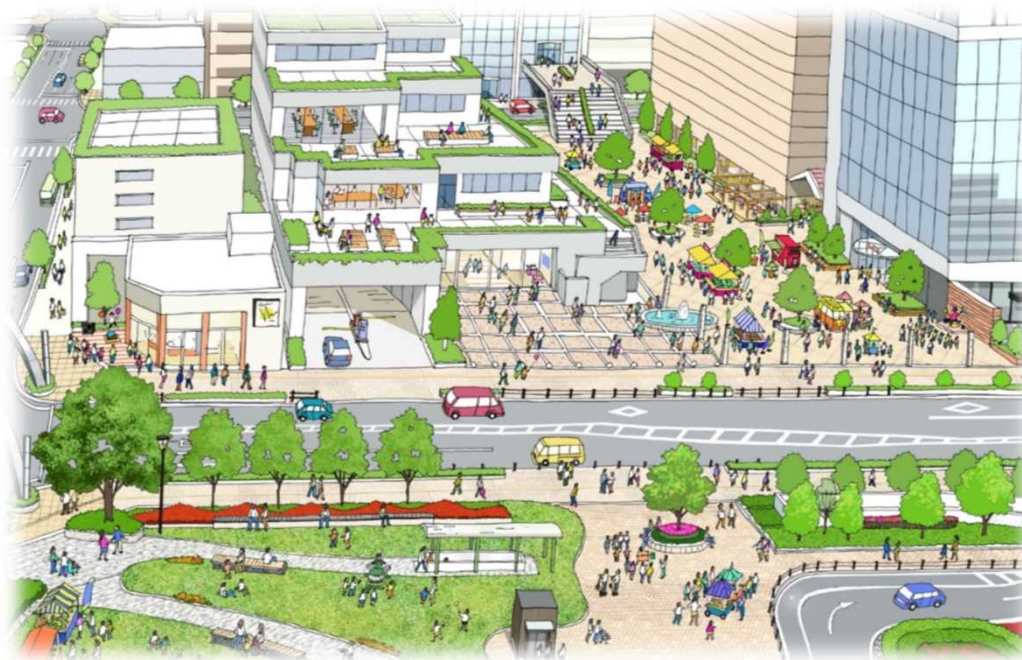
### 3 活力があるまち

---

#### 【取組方針】

#### 特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがありチャレンジを 応援するまちづくり

中心市街地の軸となるシンボルロードから路地にかけて空き家・空き店舗が点在しています。これらをも一つの地域資源として捉えて有効活用するため、活性化を担うヒトがチャレンジしやすい仕組みを構築したり、特色ある店舗や小牧の歴史や文化を感じる空間を創出することで、人が集まりにぎわうまちなかを目指します。



### 3 活力があるまち

#### 施策3 - 1 リノベーションまちづくりの推進

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
空き店舗を活用するためのマッチングの仕組みづくり	空き店舗調査、データベース整理、起業希望者とのマッチングを実施する。	制度の検討			
中心市街地空き店舗活性化支援補助金	中心市街地の指定地域内の空き店舗に新たにテナントとして出店する際に必要な店舗の賃借料を補助する。	実施			制度の在り方の検討、創業支援セミナー等と随時連携
創業支援等事業計画の推進	計画に基づき商工会議所、信用保証協会、金融機関と連携した創業支援セミナーを開催する。創業支援利子補給補助金、起業・会社設立支援補助金を実施する。その他、市内金融機関で創業サポート窓口を設置、商工会議所と東春信用金庫により創業塾を開催する。	実施			空き店舗対策との連携を検討

### 3 活力があるまち

#### 施策3 - 2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
若い世代に関心を持ってもらえるようなイベント・街歩きの実施 (中心市街地にぎわい創出事業)	こまき令和夏まつりの開催、小牧にぎわい隊の定期イベント市民による街中ライブイベントへの協力や支援を行う。	実施			
	小牧にぎわい隊主催定期イベント「城見市」にて若者が企画運営に参加する特別開催を実施する。	実施			
地域のお祭りと連携したイベントの企画 (こまき令和夏まつり開催事業)	秋葉まつり宵まつりとこまき令和夏まつりと連携した開催を実施する。	実施			
チャレンジショップ制度等の促進	空き店舗調査、データベース整理、起業希望者とのマッチングを実施する。(リノベーションまちづくりとあわせて実施)	制度の検討			空き店舗データベースを踏まえ検討
公共空間を活用した簡易な飲食施設等の誘致 (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧市にぎわい広場、駅西公園でキッチンカー等を誘致する。	実施			
小牧ならではの食や土産物などを取り扱う店舗の誘致、創設 (観光推進事業)	推奨品選定会・観光特産品開発事業補助(小牧市観光協会)、地域資源活用奨励金制度(小牧商工会議所)により小牧市の歴史、文化及び産業をいかした観光のまちづくりを推進する。	実施			
	観光協会により移動販売車を導入した物販を実施する。	実施			
施設を訪れた人の周辺への誘導 (中心市街地にぎわい創出事業)	にぎわい広場でのイベントを、こども未来館・中央図書館のデジタルサイネージで告知する。 イベント情報をにぎわい広場Instagramにて発信する。 小牧駅前に市内のイベント・観光情報を発信するデジタルサイネージを整備する。	実施			流行にあったSNSツールの使用

### 3 活力があるまち

#### 施策3 - 3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実

取組名	取組内容	R4	R5	R6	備考
地下鉄上飯田線平安通駅以南の延伸を推進 (公共交通利用促進事業)	名鉄小牧線の利用促進を図るとともに、関係機関へ要望活動を行う。	要望活動			
こまき巡回バス等のルート・ダイヤ設定 (こまき巡回バス運行事業)	利用状況の把握・分析を行い、地域懇談会やアンケート調査などにより、市民や利用者のニーズを把握し、ルート・ダイヤの再編を検討する。	利用状況調査・実態把握			R8再編ダイヤ運行予定
シェアサイクルの導入 (観光推進事業) (自転車等駐車場整備事業)	小牧駅や小牧山周辺など複数箇所に拠点を設置し、誰でも利用できるシェアサイクルの導入を検討、実施する。	制度の検討			
小牧駅バス、タクシー乗降場の集約化 (小牧駅周辺整備事業)	ランドデザインの取組方針に基づき、駅東バスターミナルの再整備を行い、現状駅西側にあるタクシー乗降場を駅東側にも配置、バス乗降場との集約化を図る。	実施設計		工事	
利用台数にあった駐車場の台数確保 (小牧市駐車場整備計画の改定) (市営駐車場管理事業)	こども未来館や中央図書館のオープンにより、駐車場整備地区を中心とする地区において駐車場の状況が大きく変化することが考えられるため、現況実態調査を実施したうえでの駐車場整備計画を改定する。また、改定後の計画を踏まえた市営駐車場の整備を行う。		実態調査	計画改定	
市営駐車場の効率的な運用 (市営駐車場管理事業)	満空情報提供サービス及び駐車場案内の充実などによる利便性の向上を図る。	実施			